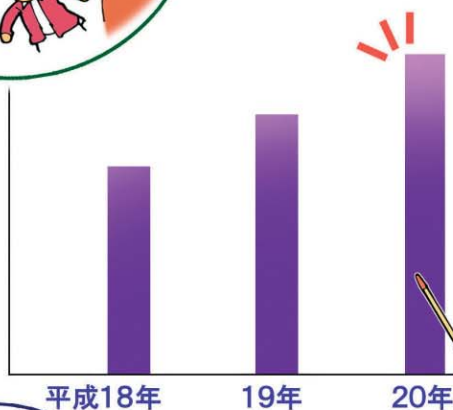


まるわかり! 京都市の政策評価結果

成功狸が、平成20年度の政策評価の結果を解説します。



京都市による説明

&

京都国際マンガミュージアムによるマンガでの説明

2008(平成20)年11月

平成20年度の
政策評価結果が
公表されましたー

政策評価か…

と言っても
なんか難しそうで
ようわからへんなあ

そうでもないで！

京都市では
「京都市基本計画」
※に書かれてある
26の政策と
政策をより
具体化した
106の施策があつて

毎年それぞれの
評価結果を
出してるんや

今年の評価結果は
左のページのとおりの

評価結果は
A・B・Cで
表されるん
やね

わては成功狸！
京都市の政策評価の
ことなら何でも
聞いてんか！

それを言うなら
成功狸※じゃ…

ちゃんと評価できるまで
失敗に化けるかも
しれないので成功狸
なんや！

成功狸※
「成功狸」成功といえる状態のこと。
成功狸は評価が成功すると成功狸となるが、
成功しなければ失敗に化ける。

ほなAの結果が
多ければ多いほど
京都市は
がんばったって
ことなんやなあ

と思うやろ？
だけど
それは違う！

政策評価は
役所の通信簿では
ないんや！

市だけでなく
国や政府
民間の事業者に
よる取組

そして何より
市民ひとりひとりが
地球に優しい暮らしを
心がけると
温暖化ストップには
つながらへん

例えば京都市でも
地球温暖化の防止に
関する政策があつて
「温室効果ガスの排出量」
などによつて
政策評価結果を
出しているんやけど

さて京都市役所だけの
がんばりで市内の
排出量を減らせる
やろつか？

そうした色々な取組の
結果によつて
京都市のまちづくりが
どれほど進んでるか

わかりやすく示す
仕組みが
政策評価つて
わけや

京都市基本計画※
「京都市基本構想」を具体化するために策定するもので、
2001年から2010年の間に市民の主体的な参加を
得て取り組む主要な政策を提示したもの。

安らぎのある 暮らし

計10政策

- すべてのひとがいきいきとくらするまち
- ひとりひとりが支え、支えられるまち
- だれもが安心してくらするまち

ひとりひとりが個人として
厚く尊重される
(人権文化)

C → C

すべてのひとがいきいきと
活動する
(住環境、しごと)

C → C

子どもたちが心豊かで
社会性を身につけ
みずからの生き方を学ぶ
(学校教育)

A → A

すべてのひとが相互に
支え合い安心してくらす
(福祉)

C → C

子どもを安心して
産み育てる
(子育て)

B → B

心身ともに健やかに
くらす
(健康)

B → B

環境への負担の少ない
持続可能なまちをつくる
(環境)

B → B

災害に強く日々のくらし
の場を安全にする
(消防・防災)

B → B

日常生活における身近な
安全や安心を確保する
(生活安全)

C → C

歩いて楽しいまちをつくる
(歩いて楽しいまちづくり)

C → B

華やぎのある まち

計11政策

- 魅力あふれるまち
- 活力あふれるまち
- 市民のくらしとまちを支える基盤づくり

美しいまちをつくる
(美しいまちづくり)

B → B

成熟した文化が実現する
(文化)

A → A

国内外との多彩な
交流を行う
(国際交流)

B → B

生涯にわたってみずからを
磨き高める
(生涯学習)

A → A

産業連関都市として独自の
産業システムをもつ
(産業)

B → B

魅力ある観光を創造する
(観光)

A → A

大学の集積・交流が新たな
活力を生み出す
(大学)

B → B

若者が集い能力を
発揮する
(青少年)

B → B

個性と魅力ある
まちづくり
(個性と魅力あるまちづくり)

C → B

多様な都市活動を支える
交通基盤づくり
(交通基盤)

C → C

高度情報通信社会に
対応できる基盤づくり
(高度情報化)

B → B

市民との厚い 信頼関係の構築

計5政策

- 情報を市民と共有する
- 市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する
- 市民とともに政策を実施する
- 市民とともに政策を評価して市政運営に生かす
- 個性を生かした魅力ある地域づくりを進める

情報を市民と共有する
(情報公開)

B → B

市民の知恵や創造性を
生かした政策を形成する
(市民参加)

B → C

市民とともに政策を
実施する
(市政改革)

C → C

市民とともに政策を
評価して市政運営に生かす
(行政評価)

C → C

個性を生かした魅力ある
地域づくりを進める
(区役所を拠点とする
地域づくり)

C → C

評価結果は 19年度 → 20年度

政策評価ランク

政策の目的が… A 十分に達成されている B かなり達成されている C そこそそ達成されている D あまり達成されていない E 達成されていない

ところで
そもそも評価結果
ってどうやって
出してるの？

ん
ちよつと興味が
わいてきた
みたいやな

「環境への負担の
少ない持続可能な
まちをつくる」を
例にとつてわかり
やすく教えましょ！

京都市の評価は
各政策の状況を統計的な
数値で表現する
「客観指標評価」と
「市民生活実感評価」

この2つの
手法による
評価結果を
総合して
評価してるんや

なかなかよく
できてるなあ
あつ実感評価が
昨年より
上がってる！

そうや
ゴミに関する
実感評価の
結果はここ数年で
伸びてるんや

これはゴミの
減量やリサイクルに
向けた取組が
市民の方々に
浸透してきた
表れやな

「市民生活実感評価」は
毎年適正に無作為
抽出した3千から
4千人の方々に

アンケート票を
郵送してるんや

まや

評価できて
いなかったら
ポストに化けて
追いかけてまわす
とこやったわ！

ちゃんと
協力して
もらわんと

送らんと
古紙回収に出した
記憶が...

うーいば...
うちにも
届いてたわ

政策評価とは

京都市民のくらしやまちが今どのような状態であるのかを把握して、京都市の政策の目的がどの程度達成されているのかを評価するものです。

評価のしくみ (政策の評価)

例) 政策**131**
環境への負担の少ない
持続可能なまちをつくる

施策 **1311** 「京(みやこ)のアジェンダ21フォーラム」を核とした環境問題への取組
施策 **1312** 環境と共生するくらしの実現
施策 **1313** 廃棄物を出さない循環型社会の構築

市民生活実感評価

市民の皆様の日々の生活実感を示すアンケートの結果により評価する市民の実感からの評価

生活実感を尋ねるアンケート調査を実施します。

【アンケート設問の一例】

問 ごみの減量、分別収集や集団回収などに取り組む人が増えている (施策 **1313**)

答 a: そう思う
b: どちらかというと思う
c: どちらとも言えない
d: どちらかというと思わない
e: そう思わない

回答を集計し、各回答を点数化して一定の基準でa～eの5段階で評価します。

有効回答数758のうち
a: 179 (23.6%)
b: 380 (50.1%)
c: 127 (16.8%)
d: 50 (6.6%)
e: 22 (2.9%)

〈ほかにも〉

省エネや省資源に取り組む
お店や買い物客、
公共交通機関を利用する
人が増えている。 (施策 **1311**)

b 評価 前年度/C 評価

a 評価 前年度/b 評価

「きれいな空気、清らかな川、
静かなまち」など、よい環境が
保たれている。 (施策 **1312**)

C 評価 前年度/C 評価

各評価結果を総合化します。

市民生活実感総合評価

b 前年度/C 評価

客観指標評価

統計調査などを基に政策の成果を示す指標を設定し、その目標達成度などにより評価する客観的な評価

複数の客観指標を設定し、目標達成度や前年推移など、指標に応じた評価をします。

【客観指標の一例】

ごみの再生利用率の伸び率(%) (施策 **1313**)

(ごみの総排出量に占める、市民・事業者及び市による再生利用量の割合)

評価方法/平成20年度目標値(7.7%)に対する達成度

a: 100%以上
b: 80%以上100%未満
c: 40%以上80%未満
d: 0%以上40%未満
e: 0%未満

新しい統計数値やデータなどを把握し、a～eの5段階で評価します。

最新数値

3.5%
達成率 45.5%

C 評価 前年度/C 評価

〈ほかにも〉

温室効果ガス排出量 (施策 **1311**)

e 評価 前年度/e 評価

京都市環境保全
基準達成率(大気) (施策 **1312**)

b 評価 前年度/b 評価

ごみの総排出量削減率 (施策 **1313**)

a 評価 前年度/a 評価

など

各評価結果を総合化します。

客観指標総合評価

b 前年度/b 評価

二つの評価の結果をもとにA～Eの5段階で評価

19年度 20年度
総合評価 = B → B

【政策評価ランク】政策の目的が… A 十分に達成されている B かなり達成されている C そこそそ達成されている D あまり達成されていない E 達成されていない

評価結果の 原因分析と 今後の方向性

市民生活実感が、3施策中2施策で評価が上がっていることから、環境に配慮した取組を行う市民や事業者が着実に増えていることが読み取れる。

地球温暖化対策については、市民、事業者の皆様の協力の下、様々な取組を進めているものの、温室効果ガスの排出量の削減目標達成に向けては、なお一層の推進が必要である。

市民、事業者の皆様と環境にいい取組を実践する「DO YOU KYOTO?」プロジェクトや、更なるごみの減量・リサイクルの推進など「環境共生型都市・京都」の実現を目指していく。

そして次
平成20年度の
評価結果の特徴を
教えるで

- ・歩いて楽しいまちづくり
- ・個性と魅力あるまちづくり

この2つの
政策で評価が
向上してるんや

何が影響して
るんやろうね

ほな市の
担当職員に
インタビュー
に行きま
しょか！

都市計画局
歩くまち京都推進室

ずばり

「歩いて楽しい
まちづくり」の
評価が向上した
理由は
なんやったん
でしょ！?

担当の早崎と
申します

京都市では
幅広い観点から
公共交通を優先する
「歩いて楽しいまち」の
実現を目指しています

環境
健康
景観

昨年度は四条通の
歩道拡幅や車道の
路線バス・タクシー
専用化などの
社会実験を
行いました

こうした取組が
市民の皆様からの
アンケート結果の
「歩くまち」や
「公共交通」に
関する

評価が
向上したのだと
思います

都市計画局
都市景観部景観政策課

京都市では
新景観政策に基づく

「個性と魅力ある
まちづくり」の
評価向上の理由を
願います

担当の大井と
申します

そうした中
都市計画決定された
地区計画※の地区数
が増加するなど

市民の皆様が自主的な
取組が推進されて
きていることが

評価の向上に
影響したん
でしょうね

南部の地域には
企業が集まって
いる…

美しい自然や
伝統的な街並が
保たれている
一方で

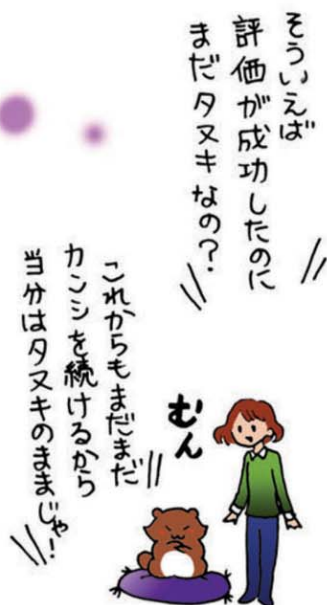
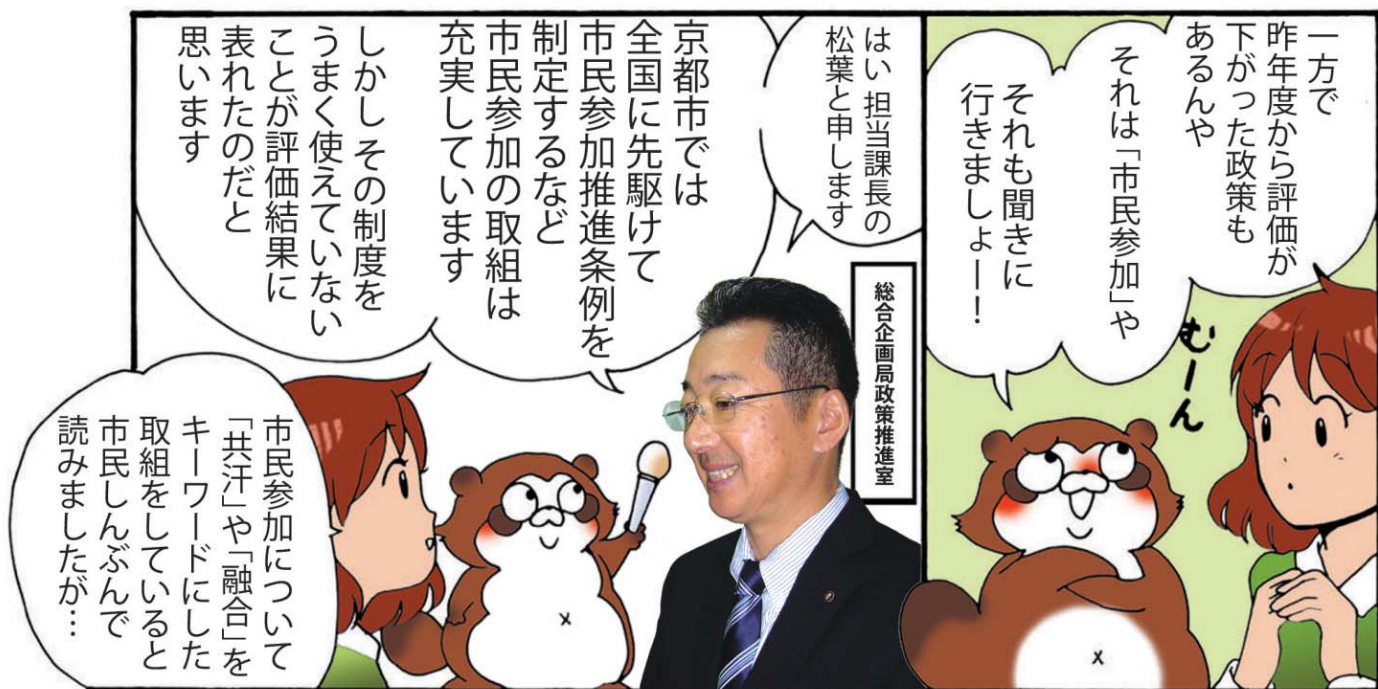
建築物の高さや
デザイン基準の
見直しなど
独自の取組を
しています

大規模な実験でしたね
新聞で読みました

これから市民と
事業者が力を合わせて
歩いて楽しい
まちづくりが進むと
いいですね！

地区計画※

住民自身が主役となって話し合い考えを出し合いながら、
地域の美観に応じたまちづくりの目標や具体的な建築の
ルール等を作成する「住民発意型」の都市計画手法のこと。





そしてたぬきは、一通のメッセージを残し、
また再びどろんとどこかに消えていったのでした…

最後まで読んでもらて、ほんまにおおきに。

このリーフレットを読んで、ちょっとでも京都市の取組やまちづくりに関心を持ってもらえるとうれしいな。

京都市の政策評価結果に関する事、評価の方法に関する事、また、このリーフレットに関する意見や感想があったら、わしがそのたびにどろんと登場して解説したいんやけど、さすがにこの身一つでは限界が…

そこで是非、京都市に申し出て欲しいんや。

京都市に届けられる意見は、市民の皆さんからの貴重な生の声やと思う。政策評価制度がより良い制度となるためには、市民の皆さんからの意見を受けて、今の制度を点検し、常に改善していかなあかんと思う。そやから、わてはまだまだ「成功裡」ではなく「成功狸」のままだ。

京都のより良いまちづくりのためにも、是非皆さんの意見を届けてください。

わてもその意見を読んで、もっともっと政策評価のことを勉強させていただきます。



せいこうり
成功狸より

京都市の政策評価の方法、結果に関することや
このリーフレットに関する事について
皆様からの御意見をお待ちしています。

ホームページで、
政策評価に関する
クイズコーナーも
公開中です!



御意見 受付方法

- ▶ 京都市情報館「政策評価について」のホームページ内の送信フォームによる受付

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035589.html>

- ▶ 郵便、FAX、電話による受付

〒604-8571 京都市総合企画局政策推進室
政策評価制度担当 宛

FAX: 212-2902 TEL: 222-3035